

北九州市立大学学報

# 青嵐

題字：阿南 惟正 初代理事長筆

The University  
of Kitakyushu  
Information

SEIRAN

Vol.49

特 | 集 | 「地域」「環境」「世界(地球)」で活躍する先生たち  
**教員特集**

contents

- 02 「地域」「環境」「世界(地球)」で活躍する先生たち
- 04 学生プラザ キャリアセンター  
自分の未来図をカタチにする。
- 06 写真で振り返る北九大この1年
- 08 北九大TOPICS



公立大学法人  
北九州市立大学

学報「青嵐」第49号

発行日 / 2019年3月1日  
発行元 / 北九州市立大学広報入試課



## 「地域」「環境」「世界(地球)」で活躍する先生たち

北九州市立大学は将来に向けたビジョンとして

「地域と歩む」「環境を育む」「世界(地球)とつながる」という3つのキーワードを掲げています。

このページでは2018年度に研究・教育活動を通じて「地域」「環境」「世界(地球)」のために積極的に活動している教員の取り組みを紹介します。

ひびきの  
キャンパス

国際環境工学部 エネルギー循環化学科 教授

### 李 丞祐先生 Seung-Woo Lee

自己組織化に基づいた新機能ナノ材料の開発、分子認識に基づいた環境・バイオセンサーの開発、匂い情報に基づいたがん診断技術の開発に関する研究を行っています。昨年、九州歯科大学との共同研究により唾液に含まれる匂い成分から口腔がんを診断する技術を世界で初めて確立しました。



## 9割以上の確率で 口腔がんの有無を判別することに成功しました。

紀元前の古い時代から匂いを使った病気の診断が行われてきましたが、その詳細が学術的に説明し始められたのはわずか約40年前のことです。

特に、近年では分析機器の急速な進歩に伴い疾患(特に、がん)に関係するより詳細な化学情報が解明されつつあります。最近、我々の研究グループは九州歯科大との共同研究で唾液に含まれる匂い成分から口腔がんを診断する技術を世界で初めて確立しました。12種類に絞られた唾液の匂いのもととなる成分が「新生」「増減」「消失」といった3つの群に分かれることを特定し、がん患

者12人と健康な人8人の唾液を分析したところ、9割以上の確率でがんの有無を判別することに成功しました。

今回の成果は、口腔がんの『匂い情報』が解明できたことにありますが、同様な方法で肺がんや胃がんなどの匂いを特定できる可能性が高く、新しいがん診断技術としての確立を急いでいます。将来的には、息を吹きかけるだけでがんの診断ができる計測機器の開発など、匂いを軸とする新しい医療産業の実現を目指しています。

基盤教育センター ひびきの分室 准教授

### アン・クレシーニ先生 Anne Crescini

ひびきのキャンパスで英語の講義を担当し、語学力だけでなく、英語を用いたプレゼンテーション能力の向上に力を入れています。自身の著書『ペットボトルは英語じゃないって知っとうと!?!』は話題を呼び、新聞連載やテレビ出演など多方面で活躍しています。



## 一人残らず英語で質の高い、説得力がある プレゼンテーションが出来るようになります。

私は、様々なメディア活動を頑張っています。本を出版したり、テレビに出たり、新聞の連載を持ったりしています。バリ楽しくて、人生は夢みたいになりました。けれど、先生としての役割が一番大事だと思います。

毎年、説得力があるプレゼンテーションの授業を担当しています。一学期間をかけて、日本語と英語で真剣な社会問題について論じます。学生は英語を専門としているわけではないので、「まさか!自分たちは、こういうプレゼンテーションができるわけない!」と思っているかもしれません。けれども、一人残らず英語で質の高い、説得力が

あるプレゼンテーションが出来るようになります。先生としての誇りは半端ない!

先生として、私の役割は英語を教えることだけでなく、考える力を持たせる責任もあると思っています。もちろん、授業に参加する学生の英語能力は上がります。そして、社会問題について深く考え、自分の意見を言えるようになります。それができるようになった学生は、立派な社会人になるに違いありません。私は、そういうふうになん年授業を教えていきたいと思っています。私は学生の可能性をずっと信じています。

# 教員特集

北方  
キャンパス

文学部 比較文化学科 教授

**真鍋 昌賢**先生 Masayoshi Manabe

専門はメディア文化論・大衆文化論・民俗学です。近現代日本における声・身体表現が、様々なメディアと関わりながらどのように生成・受容されてきたのかについて研究しています。自身の著書である『浪花節 流動する語り芸一演者と聴衆の近代』が第40回(2018年度)サントリー学芸賞を受賞しました。



歴史への想像力は、  
オーバーラップを発見することから育れます。

この度、『浪花節 流動する語り芸一演者と聴衆の近代』が、第40回サントリー学芸賞(芸術・文学部門)を受賞しました。声の文化の歴史的形成過程の研究を専門としていますが、なかでも浪花節(浪曲)は中心にある研究対象です。本書への反応のなかには、戦前の浪花節の楽しみ方から、現在のカラオケに興じる人々の姿を思い浮かべたというものや、浪花節が活字、映画、ラジオ、レコードなどにまたがって受容されていく有り様から、現代のライトノベルやアニメのメディアミックスを思い浮かべたというものもありました。歴史への想像力は、こうした

オーバーラップを発見することから育れます。連続している部分と、していない部分の両面を、発見し議論していくメディア文化論の楽しさを、これからも学生に伝えていきたいと思っています。



地域創生学群 地域創生学類 教授

**真鍋 和博**先生 Kazuhiro Manabe

演習ではキャリア教育やESD/SDGsなどを中心に教育の諸問題について取り扱い、演習実践では主に高校と連携し、探究学習の授業を計画・実践しています。本学において「キャンパスSDGsプロジェクト」を立ち上げ、学内におけるSDGsの取り組みの普及啓発に努めています。



社会課題の解決に向けて  
一人ひとりの意識変革と行動が必要です。

地球温暖化や経済格差問題、紛争など、様々な社会課題の解決に向けてSDGsは2015年9月に国連で採択された国際目標です。我が国でも政府内に推進本部が設置され、経団連が企業でのSDGs推進を促進したりと、動きが活発になっています。北九州市は2017年末に行われた「第1回ジャパンSDGsアワード」で特別賞を受賞し、昨年はOECD「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」や内閣府「SDGs未来都市」に選定され、国内外においてSDGs推進のリーダー都市として評価を受けています。

北九州市立大学でも、SDGsの学内への普及啓発を目的として「キャンパスSDGsプ

ロジェクト」をスタートしました。学内に存在する様々なSDGsに関係する取り組み等を取材し、記事を執筆して本学WEBサイトに掲載するプロジェクトで、教職員・学生約40名が参加しています。2018年度中に約30の取り組み等が掲載される予定です。持続可能な社会を構築するためには一人ひとりの意識変革と行動が必要です。

今後も様々な取り組みを行う予定ですので、SDGsに興味を持っていただければと思います。なお、記事は本学WEBサイトトップページ「クローズアップ」から見るができますのでぜひご覧ください。

「キャンパスSDGs」WEBサイト <http://kitaqsdgs.jp/>





# 学生プラザ

# 自分の未来図

社会人として求められる力を身に付けるための幅



## 本学の特色ある就職支援



### スターフライヤー×北九州市立大学 エアライン特別講座

本学では、地元航空会社と連携し、学部3年生を対象とした「エアライン特別講座」を実施しています。航空業界の現状や職務内容を現役の客室乗務員から学び、航空業界の採用試験対策を行っています。これまで、受講生の中から約40名が航空業界に就職し、CA（キャビンアテンダント）採用者数国公立大学第1位となっております。直近5年間で、航空管制官も3名合格しました。



「準備に心を尽くす」これは講座の先生に頂いた言葉です。この講座では、実際に航空業界で働かれている方から様々なことを学ばせて頂きました。就活対策はもちろんのこと、何より人としての成長を実感することができました。結果、第一志望の企業に内定を頂きました。この講座なしに今の自分はありません。そのことに心から感謝するとともに、エアライン業界を目指すすべての方に是非、この講座を受けてほしいと思います。

【受講生】仲野 晃太郎 文学部比較文化学科4年  
（株）スターフライヤー内定

### 公務員養成プログラム「公務員研究室」

2014年度から「公務員研究室」を開設し、公務員試験に向けた勉強を習慣づけ、知識・学習・面接までを一貫して身に付けます。1～3年生には全国の県庁、市役所のインターシップも多数ご用意しています！4年生は、面接対策等を強化して毎年多数の受講生が合格しています。（2017年度120名）

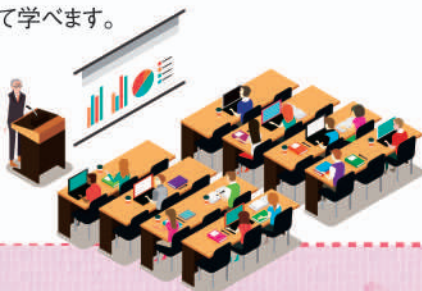


公務員試験は、筆記試験はもちろんですが面接試験も非常に重要です。公務員研究室では自己分析からしっかりサポートしていただき、面接カードの添削や受け答えの仕方などとても丁寧に指導してくださいました。初めは苦手意識の強かった面接も、何度も練習しアドバイスを受けていくうちに自分でも成長が感じられるほどになりました。公務員の勉強の中での相談も親身に対応していただき、公務員研究室に入って本当に良かったと思っています。

【受講生】吉田 朱里 文学部人間関係学科4年  
鹿児島市役所内定

### JOB×Project (学内合同業界セミナー「JOB×Lab.」 学内合同企業説明会「JOB×HUNTER」)

学生が企画から企業への参加交渉、広報、当日の運営までのすべてを行います。仕事の仕組みやノウハウ、社会人マナーについて学べます。



自分の成長のため、そして就活においても周りよりリードしたいと考えこのプロジェクトに参加しました。約半年間のプロジェクトを進めていく中で上手くいかない点やイレギュラーな問題などが起こり、運営することのむずかしさを学びました。また、企業様と直接電話やメールでやり取りする中で、普段の学生生活では得られないマナーや電話対応などを学ぶことができ、社会人の方と話をすることに慣れることが出来ました。

【プロジェクト参加者】宮城 康太 経済学部経営情報学科4年  
パーソルキャリア(株)内定

# キャリアセンター

# をカタチにする。



広い教養と深い専門知識の習得をサポートします。

## 2017年度就職率98.9%を記録!!

北九州市立大学における「2017年度学部卒業生の就職率(就職希望者に占める就職者の割合)」は、前年度より0.1ポイント高い98.9%となり、1989年度の調査開始以降、4年連続過去最高を更新しました。

### 就職支援パートナーシップ制度

出身地近郊で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を実施しています。これにより、本学の学生は、全国12大学で、求人紹介、就職関連資料の閲覧、就職ラウンジの利用など本学と同様の就職支援が受けられます。



北九州市に住みながら、出身地の広島で就職を考えた時、不安に思いキャリアセンターに相談したことがきっかけで、この制度を利用させていただきました。紹介されて訪ねた広島市立大学の方はとても親身に話をしてくれて、とても心強かったです。就職活動は大変で、色々な負担がかかるけど、頼れる社会人の方がいることを知っていれば、その負担は大きく軽減されるように思います。是非、キャリアセンターを利用してください。この制度はUターン就職もしやすく、良い制度だと思います。

【制度利用者】森兼 将太 経済学部経営情報学科4年  
様(広島トヨタ内定)



#### 学生の就職支援

- ① 求人情報等の提供、相談
- ② 就職関連資料の開示
- ③ 就職ラウンジの開放

静岡県立大学	横浜市立大学	北九州市立大学	名古屋市立大学	国際教養大学	都留文科大学
兵庫県立大学					信州大学
広島市立大学	大阪市立大学	福井県立大学	首都大学東京	山梨大学	山梨大学

### ひびきのキャンパス(国際環境工学部)の就職支援

ひびきのキャンパスでも独自の就職支援事業を行っています。キャンパスには就職情報室が設置され、キャリアカウンセラーが就職に関する相談を受け付けています。また理系学生のための独自の合同企業説明会やスタートアップセミナーも開催しています。これらのサポート体制に支えられ、国際環境工学部の就職率は2年連続で100%を達成しています。





ひびきのキャンパス本館

北方キャンパス本館

# 写真で振り返る 北九大この1年



入学式  
4月4日



夏季スポーツフェスタ  
6月10日



第7回瞬花祭〔北方〕  
7月1日



OPEN CAMPUS 2018〔北方〕〔ひびきの〕  
7月15日・16日





第72回青嵐祭(北方)  
11月3日~5日



北九州市立大学-大連外国語大学  
交流協定締結30周年記念シンポジウム  
11月8日



第16回響嵐祭【ひびきの】  
11月10日・11日



OPEN CAMPUS in 響嵐祭【ひびきの】  
11月11日



ビブリオバトル学内予選会(北方)  
11月17日



学長を囲むランチ初開催(北方)  
12月19日



インターナショナルカフェ(北方)  
特別企画「わたしの街を紹介します」  
1月17日・21日・24日



環境問題事例研究  
調査研究発表会【ひびきの】  
1月17日



421Lab.地域活動発表会(北方)  
2月8日



# 北九大 TOPICS



## 学長を囲むランチ



松尾太加志(まつお・たかし)学長は今年度から学生や教職員とランチを囲みながら自由な意見交換を行う場として「学長を囲むランチ」を開催しています。初回のランチは学生を対象として2018年12月19日(水)に開催しました。約20人の応募があり、抽選の結果、5人の学生が参加しました。

当日参加した学生は「いつもは直接話すことのない学長とのランチを通じて、学長が身近な存在に感じられた。気さくな人柄に触れることができてよかった。」と感想を述べました。

松尾学長は「学生の大学に対する率直な声を聞くことができて有意義だった。この取り組みを通じて、多様な意見を反映する大学運営に努めたい。」と話していました。

「学長を囲むランチ」は今後、1か月に1回をめどに定期開催されます。



## 421Lab. 地域活動発表会



地域共生教育センター(421Lab.)には現在、472名の学生が自主的に参加しており、年間を通じてさまざまな地域活動を展開しています。2月8日(金)には、北方キャンパスA-101教室で「地域活動発表会」を開催し、16のプロジェクトの活動報告を行いました。

当日参加した学生からは「日ごろ知る機会がほとんどない他のプロジェクトの活動を聞く良い機会となり、学ぶことが多くあった。」「自分たちが発表をする中で反省点や課題、来年度の目標が明確になった。来年度はより良い活動に努めていきたい。」という声が聞かれました。

また、421Lab.の眞鍋和博(まなべ・かずひろ)センター長は「学生たちが自主的に地域活動に取り組んだ成果を地域の皆さんに紹介する機会となってよかった。今後も活動の充実を図り、学生の成長を支援していきたい。」と話していました。



## 北九大志願者向けのイベント、続々開催!!



～3月26日(火)はスプリングスクール～

1月26日(土)に博多バスターミナルで入試直前説明会を開催しました。センター試験を終え、受験生など約300名が来場し、各学部・学群のブースでは熱心な質問が相次ぎました。

3月26日(火)には、高校生の大学進学へのイメージをより具体化し将来の進路選択に役立ててもらおうことを目的として「スプリングスクール」を初めて開催します。当日は各学部・学群の教員が講義形式の授業や、討論・発表といったアクティブラーニング形式の授業を展開します。(スプリングスクールの参加申し込みは終了しています。)

北九州市立大学では2019年度も北九大を志願する皆さんのためのイベントを随時開催していきます。

